

市政に新風を

市政 報告

横浜市会議員

つきいちかい

ふしみ

月一会 伏見ゆきえ

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町 389 ベルクール 102

TEL.045-443-5757 / FAX.045-443-5671 E-mail:office@fushimiyukie.com

【議会活動報告】10月

4日

平成 28 年度決算特別委員会 決算第一特別委員会局別審査 (経済局関係)

1. 経済局の平成 28 年度決算
2. 中小企業ものづくり企業の基盤強化のための人材育成
3. 中小企業ものづくり企業の成長発展に向けた支援
4. 横浜の優れた技能のブランド力の向上
5. 区や事業者などの力を活用した魅力ある商店街づくり
6. 女性の活躍支援
7. **ライフイノベーションの推進**

17日

平成 28 年度決算特別委員会 決算第一特別委員会局別審査 (康福祉局関係)

1. 生活困窮者自立支援事業
2. 依存症対策
3. 保護司に対する支援
4. 介護報酬改定に向けた取り組み
5. がん検診の受診率向上に向けた取り組みの推進
6. 障害者支援施設
7. 障害者のスポーツ活動支援
8. 動物愛護センター

この 10 月 4 日と 17 日に行われた決算特別委員会では、経済局関係で 7、健康福祉局関係で 8 項目の質問を致しました。

なかでも私が所属する自民党で重視しているのが、少子高齢化に伴う健康・医療問題などを含めた社会課題の解決となりうるライフイノベーションの推進です。

横浜市では、健康・医療分野の技術革新を持続的に早出していくことを目的に、産学官金が連携して取り組むための土台として横浜ライフイノベーションプラットフォーム(= LIP 横浜)が立ち上げられています。

平成 28 年度の特区における主な取り組みには、大きな期待と夢が抱ける成果が出ていることが、今回の決算特別委員会で明らかになりました。

・全国で初めて施設基準を緩和した臨床試験専用病床を横浜市立大学付属病院に整備。

・世界初の再生医療技術であるヒト軟骨デバイスプロジェクトに国からの財政支援が決定。

・特区制度を活用した横浜市立大学と民間企業との産学連携により腹腔鏡下手術のシュミレーターが製品化され、販売に至り世界各国の医師の集まる研修施設などで活用。

・世界で初めてヒト ips 細胞からミニ肝臓の創出に成功し、その成果は科学誌ネイチャーに掲載され、特区における成果が国内外に広く発信。

これらの成果は市内に健康・医療分野を得意とする企業や研究機関が多数集結していることが挙げられます。今後も横浜で生み出された技術や製品が世界に発信され、貢献できるよう国際的な競争力を持つ市内中小企業との連携や海外提携を強め市内経済の活性化につなげてほしいと思います。

ゆきえのゆくえ

教育委員会の視察で 11 月 8 日、群馬県昭和村にある横浜市少年自然の家・赤城

林間学園を訪れました。昭和 47 年に開設されたこの林間学園は、老朽化を含め少子化問題の結果、利用が減るなど様々な課題を抱えています。今後の運営方法や活用方法など検討していく必要があります。

ちなみに昭和村は戸塚ふれあい区民まつりに毎年、村の美味しいものを提供するお店を出店しています。

この写真は 10 月 1 日の秋祭り式典に伺った時の写真です。名物のこんにゃくのお弁当は視察の時にいただきました！



雑記 とことこ

11月の行事といえば、お子さんやお孫さんの成長を祝う「七五三」。

私も20年以上前に2人の娘が3歳、7歳の時には朝から着付けをお願いし「今日はおしとやかにね」とか「頑張って可愛くしようね」と着物を汚されないよう声を掛けたのを今でも覚えています。

住んでいる地域の氏神様にお参りに出かけ、娘たちのこれまでの成長への感謝とお礼を伝え、今後の成長での災いや困難を乗り越えられるよう祈って頂きました。

最近是有名で大きな神社を訪れる方も多いようです(もしかしたらご自分の住む地域の氏神様をご存知ないのかもしれませんが)。

けれども、ご自分の住んでいる地域を守っている、もっとも身近な神様を祀る神社に地域の子どものように見守って頂けるようお願いすることも、ぜひ大切にして頂けたらと思います。

とつかの野菜で Cookingu

戸塚の野菜とソーセージ、横浜市少年自然の家赤城林間学園に訪れた際に頂いたジャンボニンニクを使って簡単ナポリタンを作りました。



材料を入れたら手早く炒めます。ジャンボニンニクの風味が良い香り。赤城林間学園のある昭和村では、このジャンボニンニクを素揚げや煮物にしたりするようです。

味付けはケチャップと塩胡椒。我が家では隠し味にバジルを少し加えたりもします。私はタバスコたっぷりが好きです(笑)



子育て 教育 福祉 医療

誰にでも優しい街であるために

4つの政策

女性も男性も共に輝く社会、ひいては、妊婦、子ども、若者、高齢者、障害のあるなしにかかわらず、誰にとっても暮らしやすい社会の実現に向けて、私も走り出します!

仕事、子育て、義父母の看病、これまで様々なことがありました。私が大変だと感じた経験の多くは、ほかの皆さんも経験していること。また、これから多くの方々が直面するかもしれないことです。

あの時に困ったことを、これからは困らなくてよいように、小さなことから変えていきたいと考えています。

チームゆきえ募集中!!

市政報告の駅頭配布、ポスティング、事務作業などをお手伝いして下さる方を募集しています。未経験の方でもOK!まずはお気軽にお電話下さい



- 伏見ゆきえプロフィール -

1968年2月24日

川崎市で誕生。

2歳の時に横浜市旭区へ。

横浜市立 左近山第二小学校、左近山中学校卒業。水泳部や、テニス部に所属し、体を動かすことが大好きでした。

1986年高校卒業後、歯科医院に勤務。20歳で結婚。保土ヶ谷区へ。仕事を続けながら長女を出産。次女出産を機に退職。



働く母としてヤクルトレディに。子どもを預け、働くことは今と同じように悩みが。時にはキャリアに子どもを乗せて一緒に営業したことも。



2013年神奈川県参議院選挙区第三支部長 島村大参議院議員の秘書を経て、横浜市議員に就任。所属委員会 子ども青少年・教育委員会、観光・創造都市・国際戦略特別委員会 副委員長

ココに注目

平成30年3月から戸塚駅周辺は喫煙禁止地区に指定されます。既に横浜市では市内全域が歩きタバコやポイ捨ても禁止されています。喫煙所も設けられますので、駅周辺の美化推進と受動喫煙への配慮にご協力下さい。



日々の活動は

ホームページ

伏見ゆきえ

検索

または

facebook



で更新中!